



行動経済学会第11回大会

2017年12月9日(土)～10日(日)

同志社大学今出川キャンパス良心館

共催:同志社大学創造経済研究センター



2017年12月10日(日) 15:30-17:00

招待講演 Prof. Matthew Rabin

(The Pershing Square Professor of Behavioral Economics in the Harvard Economics Department and Harvard Business School)

2017年12月9日(土) 14:00-15:30

特別セッション

・「ビッグデータ・行動経済学とマーケティングの交点」

(1)「期間限定品はなぜ・どのように購買されるのか? :購買行動データによる分析」

石原昌和(ニューヨーク大学)、水野誠(明治大学)

(2)「位置情報データと購買履歴情報を利用した顧客行動の理解:他社利用や価格の効果の再定

義」星野崇宏(慶應義塾大学・理研 AIP)

・「行動ファイナンスー経営者バイアスとマーケットのミスプライシングー」

(1)「企業の財務責任者の個人的リスク回避度と報酬体系が、企業の財務意思決定に与える影

響」東京工業大学 井上光大郎氏

(2)「Deep Learning をもちいた投資家行動の規則性発掘」関西学院大学 岡田克彦

・教育セッション(研究者向け)

「応用行動経済理論」大阪大学 室岡健志、関西学院大学 大洞公平

2017年12月9日(土) 15:45-17:30

パネルディスカッション

「ディープデータによる感性マーケティングの可能性」

コーディネーター:八木匡(同志社大学)

パネリスト:清水聰(慶應義塾大学商学部教授)、Norbert Leuret (LVMH 日本 代表取締役社長)

吉川稔(元 RISTEA 副社長、現東邦レオ社長)、高山文博(NTT データ経営研究所)